



検査情報月報7月号 ▶ 概要版 ◀



衛生研究所のInstagram
フォローをお願いします！

令和8年7月発行

▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、検査情報月報を発行しています。

医動物・種類同定検査結果（令和8年4月～6月）

▶ 人の健康を害する、または不快感を与える昆虫類等の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かり、効果的な対策を立てることにつながります。

主な結果 ▶ 昆虫類 2 件（ハエ目（ホシチョウバエ、オオクロバエ））でした。

レジオネラ属菌の検査結果（令和7年度）

▶ レジオネラ症の発生・拡大防止のため、患者利用施設の水や水回りのふきとり検体を採取して、レジオネラ属菌検査を行って感染源を特定しています。

主な結果 ▶ 令和7年度は、延べ43施設、235検体（水試料103検体、ふきとり試料132検体）のレジオネラ属菌検査を実施しました。▶ **LAMP法陽性は延べ12施設17検体**（水試料16検体、ふきとり試料1検体）で、**培養法陽性は4施設7検体**（水試料5検体、ふきとり試料2検体）でした。▶ また、それ以外に施設の冷却塔水を対象として**9施設21検体**についてレジオネラ属菌検査を実施しました。検査の結果、**LAMP法陽性は延べ9施設17検体**で、**培養法陽性は6施設15検体**でした。

家庭用品検査結果（令和7年度）

▶ 家庭用品とは、衣料品や洗剤など私たちが日常生活で使用している生活用品のことをいいます。「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づき検査を行っています。

主な結果 ▶ 市内販売店で購入等した65検体（購入品：64、収去品1）について、延べ772項目の検査を実施しました。▶ アゾ化合物に関する検査において、**えり飾り1検体**から、発がん性を有する、または発がん性の可能性がある**特定芳香族アミン**である**ベンジジン**および**3,3'-ジメトキシベンジジン**が**基準値を超えて検出**されました。さらに、収去した同一製品からも同様にこれら2物質が基準値を超えて検出されたため、**違反**となりました。

水道水質検査の神奈川県外部精度管理調査への参加結果（令和6年度・令和7年度）

▶ 神奈川県水道水質管理計画に基づき実施される「神奈川県外部精度管理調査」に定期的に参加して客観的な評価を受け、水質検査に従事する職員の技能水準を確保して、検査の精度を適正に保つことに努めています。

主な結果 ▶ **令和6年度**の調査対象検査項目は有機物が「1,4-ジオキサン」、無機物が「フッ素及びその化合物」、**令和7年度**の調査対象検査項目は有機物が「ベンゼン」、無機物が「ホウ素及びその化合物」でした。▶ 無機物の変動係数は0.23%と1.24%、有機物の変動係数は0.84%と1.69%でした。また、Zスコアの絶対値は0.39～1.61でした。無機物の誤差率は2.0%と-2.9%、有機物の誤差率は-0.7%と-15.6%でした。いずれの項目も**良好な結果**でした。